

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104 - 148	小学校	算 数	算 数	1 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	算数 122 算数 123	しょうがく さんすう 1① しょうがく さんすう 1②		

1. 編修の基本方針

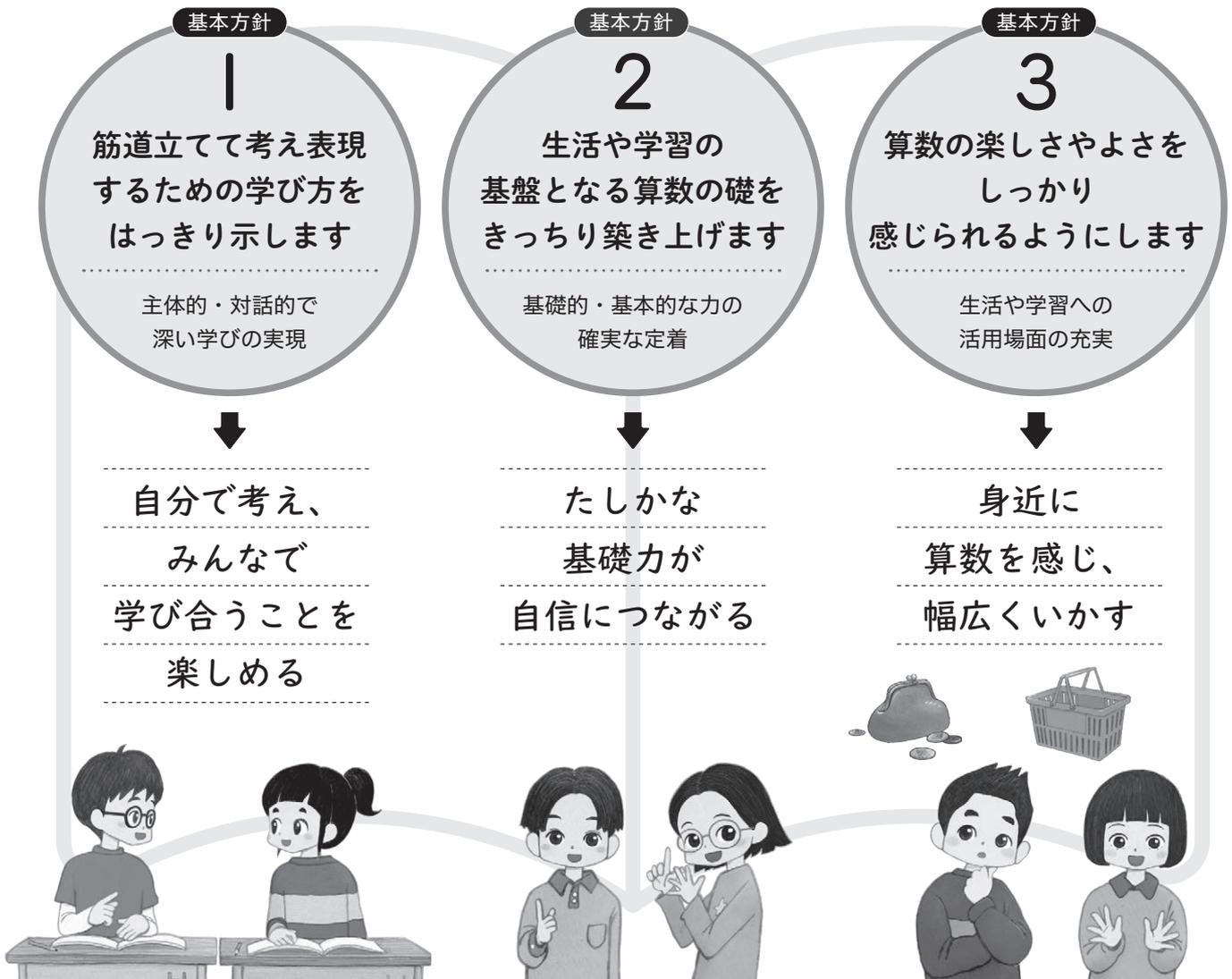
—子どもたちの「確かな資質・能力」をはぐくむ算数の学び—

数学的な見方・考え方を働かせた

「わかる・できる・つなげる・いかす」数学的活動の充実により

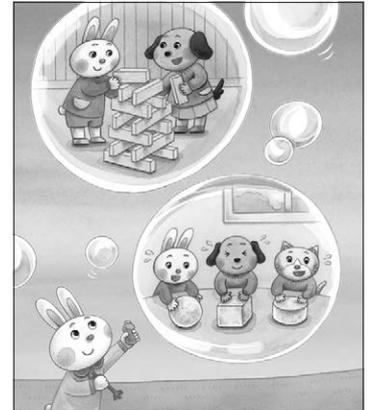
「確かな資質・能力」が育つように…

私たちはこの教科書が、そのたすけとなることを心から願って編修しました。



1 第1分冊『しょうがく さんすう1①』で、算数の世界へ

入学から5月末までの使用を想定



(①p.4)

(①表2~p.1)

1年生が最初に手にする『しょうがく さんすう1①』は、表紙をめくると絵本の世界。巻頭「かずや かたちで たのしく」は、就学前の遊びや生活と算数との関係性・連続性を絵本仕立てで示し、無理なく算数の世界に入れるようにしました。そして、「にゅうがく おめでとう」のページから、算数科の学習内容を含んだストーリーとなっています。

また最初のページにデジタルコンテンツを用意し、絵本を朗読とスライドショーで見られるようにしました。文字を学習する前でも安心してお使いいただけます。



(①p.8~9)

2 第2分冊で算数の学習の進め方とノートのかき方を例示します

第2分冊の『しょうがく さんすう1②』では、問題解決型の学習過程を掲載した「さんすうの がくしゅうの おすすめかた」を設けています。具体的な子どもの発言例を示すことによって、これからの算数の学習をどのように進めていけばよいのかがわかり、算数の学び方が身につきます。

「さんすうノートをつくろう」では、考えた過程や学習のまとめ、振り返りなどの、ノートのかき方のポイントを示しています。わかりやすく整理されたノート作りを通して、子どもたちの思考力や表現力が高まることが期待されます。

さんすうの がくしゅうの おすすめかた

1 どんないきもの かんがえよう

どんないきもの かんがえよう。よくよく、かくしゅうの おすすめかたを もとめよう。

なにをもとめる もんだいかな。

りくさん

2 かんがえよう

もんたいを かんがえる みたおしを たて、 じぶんの ちからで もんだいを かいけつしよう。

ブロックで かんがえると...

りくさん

3 まなびあおう

じぶんの かんがえを はつしょうしたり、 ほかの ひとの いけんを きいたり して、 はなしまあおう。

ブロックを つかって こたえを もとめたよ。

りくさん

4 ふりかえろう

かくしゅうした ことを ふりかえろう。

つぎの もんだいは ずいぶん つかって かんがえて みたい。

りくさん

さんすうノートをつくろう。

めあて

- がくしゅうのめあてをかく。

じぶんの かんがえ

- ずや しき、ことばをつかって じぶんの かんがえを かく。

こたえを まちがえたり、 かんがえを かえたり しても けさずに のこして おこう。

○がつ○にち

もんだい

めあて

じぶんの かんがえ

もんだいの かんがえ

まとめ

ふりかえり

ともだちの かんがえ

- ともだちのよい かんがえや ほうほうを かく。

まとめ

- わかった ことや できるよくなった ことなどを かく。

ふりかえり

- じぶんや ともだちの かんがえの よかった ところや もっと しりたい ことを かく。

(②p.34~35)

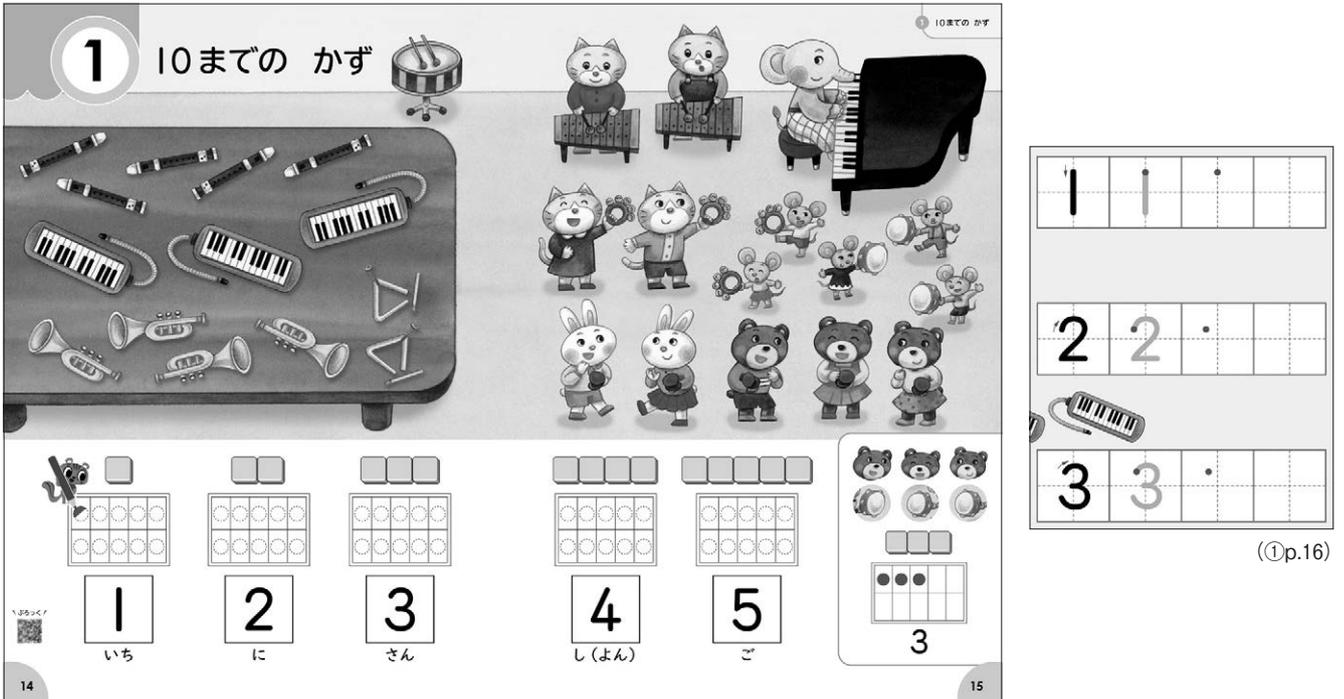
2 生活や学習の基盤となる算数の礎をきっちり築き上げます

基礎的・基本的な力の確実な定着

1 楽しみながら基礎力のつく導入期用の1年①をつくりました

入学から5月末まで使用する①は、中綴じてフラットに開きます。机の上に平らに開くことができるので、ブロックやおはじきを置いたり数字を書いたりする、大切な導入期の学習にぴったりです。

また鉛筆でかき込みのしやすい用紙を採用し、かき込み用のマス目は数字をバランスよくかける中心線の入った方眼にしました。かきやすい紙にバランスよくかき込むことで、ノート作りの素地が養えます。



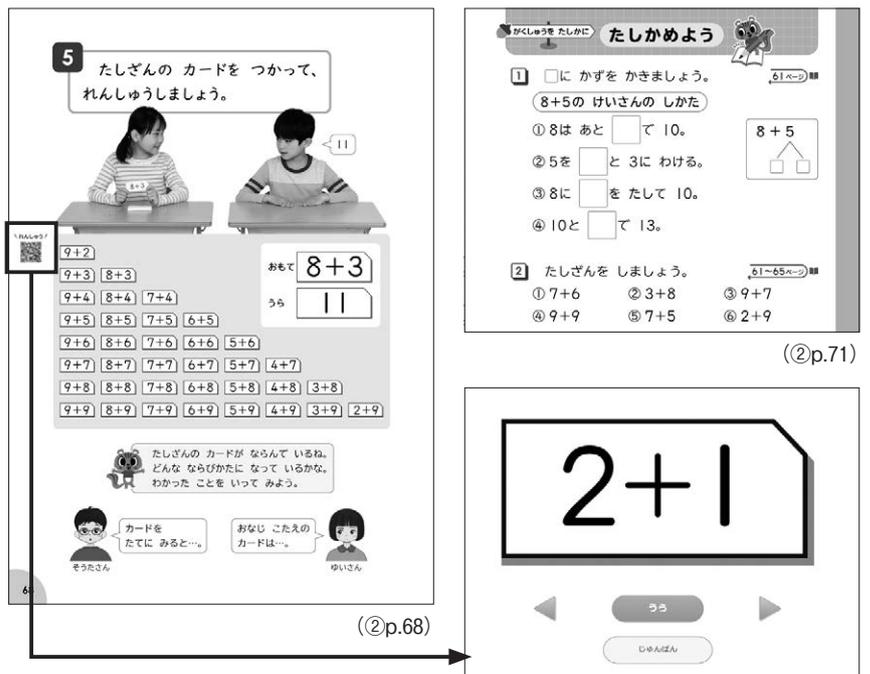
(①p.14~15)

2 学習した内容を整理し、習熟・定着へとつなげるようにしています

練習問題だけではなく、ゲーム的な活動をふんだんに取り入れ、活動を通して楽しみながら学習し、習熟・定着へとつながるようにしています。

単元末の「たしかめよう」では、単元で学習した算数の基礎的・基本的な内容を確認できるようにしています。各問題の右側にはフィードバックのページも示していますので、子どもが自分で振り返りながら、知識・技能の定着を図ることができるようになっています。

またデジタルコンテンツとして、教具のように使えるブロックや計算のフラッシュカード、ドリル問題などを用意しています。



(②p.68)

(②p.71)

デジタルコンテンツの例 (たしざん かあと)

3 算数の楽しさやよさをしっかり感じられるようにします

生活や学習への活用場面の充実

1 「つかってみよう」で日常生活に算数をいかします

学習したことを日常生活と結びつけて、活動を通した学びを進めることで、算数を身近に感じることが出来ます。体を動かして算数を感じることは、算数に苦手意識のある子どもにも楽しい時間となるでしょう。

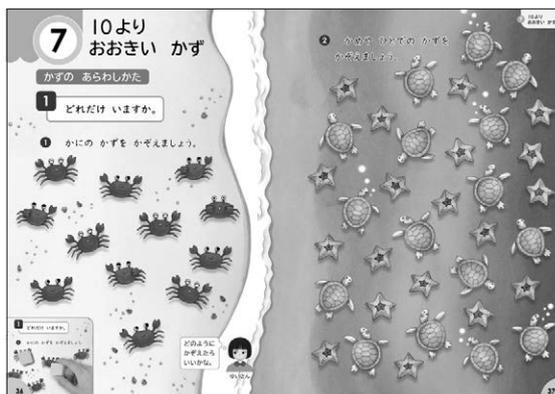


(2)p.50

2 算数を楽しく学びたい気持ちを大切にしています

思わず問題に取り組みたくなるイラストを随所に使い、子どもの興味や関心を引く場面設定にしています。

また、場面や素材は、教科横断的な観点にも配慮しました。関連させた教科での指導時期も意識しています。



(2)p.36~37



(2)p.14

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
本編	<ul style="list-style-type: none"> 「さんすうの がくしゅうの すすめかた」や「さんすうノートをつくろう」では、算数の学習の仕方を知らせ、真理を求める学習態度が育てられるようにしています。(第1号、第2号) 「かずを せいりしよう」では、他教科(生活科)と関連深い題材を取り上げ、幅広い知識が身に付くようにしています。(第1号) 「かたちあそび」では、他教科(図工)と関連深い題材を取り上げ、幅広い知識が身に付くようにしています。(第1号) 子どもの考えを表現する場面や活動する場面では、男女の平等に配慮し、男女区別のない役割を意識した場面を提示し、公平な立場で他者と接するようにしています。(第3号) 動植物に関する題材や、環境・防災教育につながる題材を通して、生命を尊ぶ精神や、環境保全・防災に寄与する態度が養えるようにしています。(第4号) 	<p>② p.34~35</p> <p>② p.31</p> <p>② p.72~73</p> <p>② p.68、86</p> <p>② p.111</p> <p>② p.28、60</p> <p>② p.78</p>
じぶんでみんなで	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程において、自分の考えを表現したり、他者と協働して取り組んだり、数学的な妥当性を考察したりする場面を例示することにより、自他の敬愛と協力を重んじることを大切にしています。(第2号、第3号) 	<p>② p.65~67</p> <p>② p.127~129</p>
つかってみよう	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを身の回りで活用する活動を取り上げ、算数と生活との関連が実感できるようにしています。(第2号) 折り紙を折ることで、形が変化したり、さまざまな形があらわれたりすることを確認し、我が国の伝統・文化に親しみ、それを大切にする気持ちが持てるように配慮しています。(第5号) 1日の時間の使い方を振り返り、それを発表することで、豊かな情操、健やかな心身を養い、子どもの主体性を重視し、自主及び自律の精神が養えるように配慮しています。(第1号、第2号) 	<p>② p.50</p> <p>② p.111</p> <p>② p.76</p> <p>② p.122</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1 だれも見やすく使いやすい紙面への配慮

- カラーユニバーサルデザインに配慮しました
図形に使う色数を抑える、グラフの色は見分けやすい色にするなど、誰にとってもわかりやすい図版、目にやさしい色づかいになるよう配慮しました。
- 全ページユニバーサルデザインフォント（UDフォント）です
視認性の高いUDフォントを教科書体にもゴシック体にも採用しました。また、極力色文字を使わないようにしています。
- 読みやすく、文意がとりやすい文節改行です
- 当該学年以上の漢字には、ページ初出ごとにルビを振りました
デジタル教科書などで1ページ表示にしたときでも漢字の読みで困ることはありません。



(②p.127)

2 人権上の配慮

男子＝青系の服、リーダー・カ仕事、女子＝赤系の服でスカート、アシスタント・お菓子作りなどの性による服装や役割の固定化がないように配慮しました。また、協働の場面では、性別に関係なく、みんなで協力している姿を表現しました。

3 造本上の工夫

- 第1分冊『しょうがく さんすう1①』
入学直後から5月末まで使用する①は、薄く軽い中綴じにし、子どもの体に負担がかからないようにしました。
フラットに開くため紙面が安定し、ブロックを置いたり数字を書き込んだりする作業が容易に行えます。

4 今日的課題への取り組み

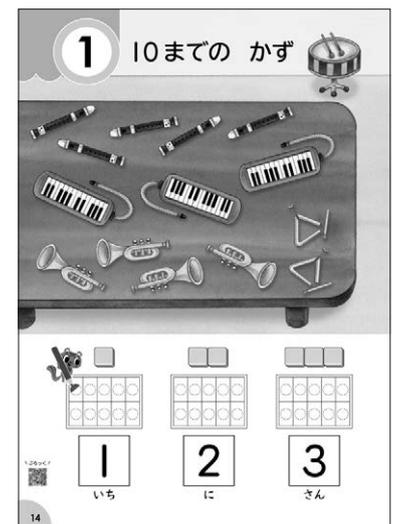
- 道徳教育との関連
問題解決の場面では、他者の多様な考えを尊重し、話し合いを通してよりよい考えを作り上げていく道徳性を養うことに配慮しています。

5 ICTの活用

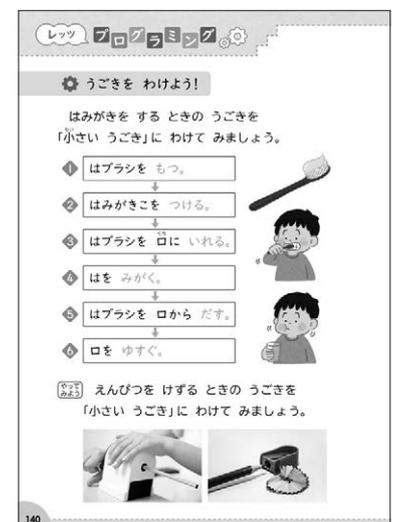
- デジタルコンテンツ
理解を深めるための動画・アニメーションや自分で操作できるコンテンツ、計算ドリルや問題のヒント表示など、さまざまな種類のデジタルコンテンツを数多く用意しました。該当する箇所と目次に二次元コードを掲載し、簡単にアクセスできるようにしています。
- プログラミング教育
プログラミング的思考について、プログラミングと日常生活を結びつけて取り組むことのできるページ「レッツ プログラミング」を設けました。
- デジタル教科書、教材を発行します

6 先生方の教材研究、授業準備の支援

各時間の要点や板書例、評価規準などを掲載する朱書編、指導案や単元の解説を掲載する研究編、評価問題やワークシートを収めた資料編、デジタルデータ集などからなる教師用指導書を発行し、日々の授業をサポートします。



(①p.14)



(②p.140)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104 - 148	小学校	算 数	算 数	1 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	算数 122 算数 123	しょうがく さんすう 1① しょうがく さんすう 1②		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

自分で考え、みんなで学び合うことを楽しめる

1 「じぶんで みんなで」で、学習の流れをナビゲートします

「じぶんで みんなで」は、問題解決型の学習過程を具体的に示すページです。各ページの側注に学習のステップを示すことで、「子どもによる主体的な算数の学び」を実現できるようにしています。また3ページにわたる黒板の図は、板書例としてもご利用いただけます。

① どんな もんだいかな
② かんがえよう
③ まなびあおう
④ ふりかえろう

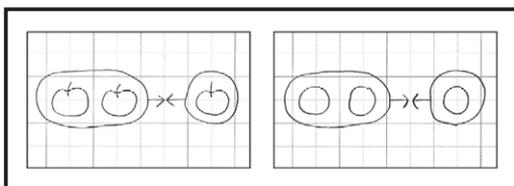
(②p.65)

① どんな もんだいかな
② かんがえよう
③ まなびあおう
④ ふりかえろう

(②p.66~67)

2 数学的な表現の扱いを大切にしています

加法や減法を最初に学習する際には、絵や図、操作、ことば、式などの数学的な表現様式を提示しながら、その相互関連を整理して取り上げました。知識や計算技能の習得だけにとどまることなく、数学的な思考力・表現力を育み高めることをも意図しています。また、子どもが絵や図をかいて考える事例を掲載し、図を用いて思考と表現を結びつけることを大切にしています。



② あわせるといくつになりますか。

3と2をあわせると、5になります。
しき $3+2=5$
3たす2は5

あわせるとなんこになりますか。
しき $1+2=$
こたえ こ

3+2や1+2のようなけいさんをたしざんといいます。
3+2、1+2もしきてす。

① ③+1 ② 1+4 ③ 2+2

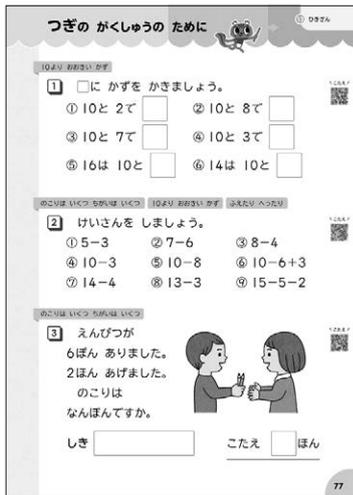
(②p.4~5)

2 たしかな基礎力が自信につながる

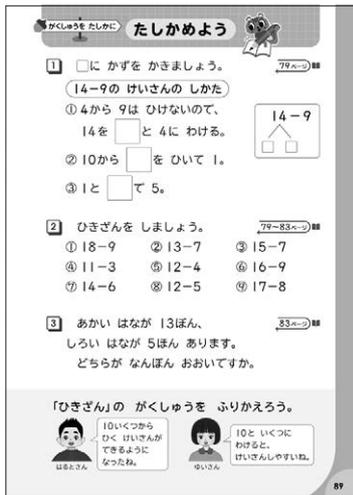
1 既習内容を確認し、定着を図りながら学習を進めていくようにしています

新しい単元に入る前に、これから学習する内容のもとになる既習事項を確認する「つぎの がくしゅうの ために」を設けています。ここでは、算数の基礎的・基本的な知識や技能の習得だけでなく、学習の根底となる思考・判断・表現する力も確認することができるようにしています。

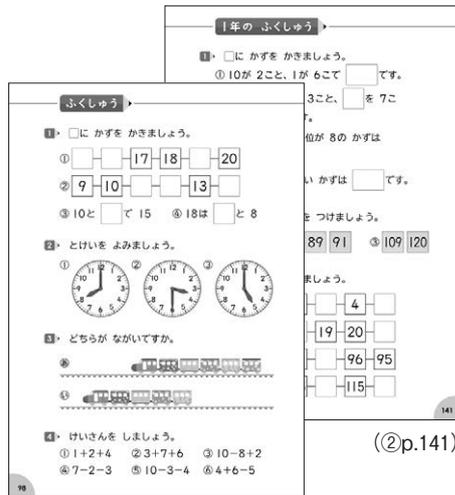
本単元の最後には「たしかめよう」で、十分な分量の問題を用意し、学習内容を確実に定着・習熟できるようにしています。また、学期末の「ふくしゅう」、学年末の「1年の ふくしゅう」で、既習内容を振り返る問題に取り組むことにより、学習したことの定着度の向上が図れるようにしています。



(2)p.77



(2)p.89



(2)p.98

(2)p.141

2 子どもが苦手としている内容を ていねいに扱っています

減法の求残と求差、時計の読みのような習熟に時間がかかる内容は、分節や単元を分けるなど、段階的にていねいに取り扱いようにしています。

また、繰り上がりのある加法と繰り下がりのある減法は、単元が連続しないよう配慮しています。



(2)p.46

(2)p.120

3 言語活動を大切にしています

場面理解の充実のために、学習内容を使っておはなしづくりをしたり、算数絵本をつくったりするページを設けました。

場面を踏まえて問題づくりをすることを通して、加法や減法が用いられる場合とその意味について、理解が深まるようにしています。



(2)p.25

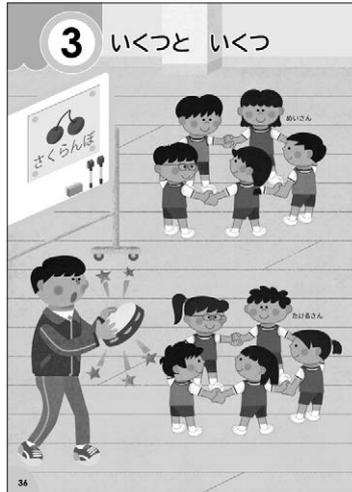
(2)p.26

3 身近に算数を感じ、幅広くいかす

1 他教科等との関連を大切にした構成にしています

体育科、生活科、給食など、他教科での体験や学校生活の場面を取り上げました。経験を生かした学習ができるようにしています。

体育での
猛獣狩り
ゲームの場面



(①p.36)



図書室で
本を借りた
場面

給食準備の
場面

(②p.2)

2 日常生活と算数をつなげます

つかってみよう

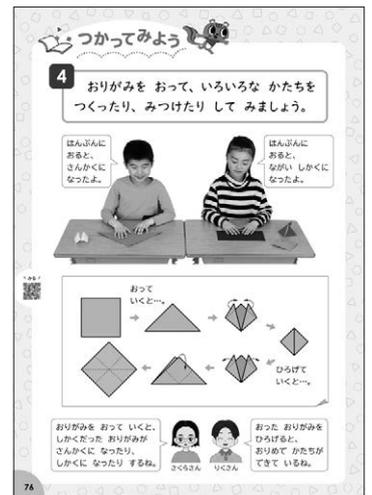
より実感的に算数を学習して算数の楽しさやよさを感じられるようにするため、作業的・体験的な活動や学習したことを実際場面に活用する活動の充実を図っています。ここでは、どのように活動を行うのかを具体的に示すとともに、手順や準備物を掲載して、活動への意欲を高め、進んで生活にいかそうとする態度が身に付くようにしています。



(②p.111)



(②p.122)



(②p.76)

3 算数の世界がもっと広がります

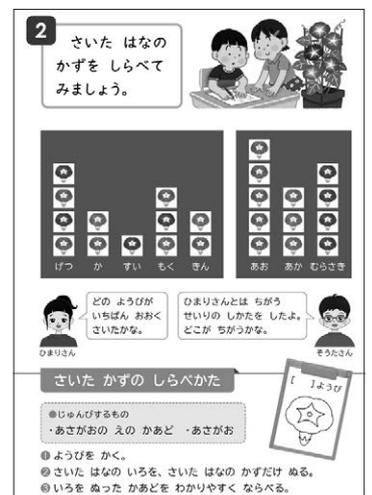
「Dデータの活用」領域の教材

身の回りの事象に注目し、データを集めて絵グラフを用いて表現したり考察したりする活動に取り組むページを設けました。統計的な問題解決のよさを感じ、生活や学習にいかそうとする態度が養われるようにしています。

巻末にある動物カードを
切り取って学習できるよ。



(②p.29)



(②p.31)

2. 観点別教科書の特色表

教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> 教育基本法第2条に示された教育の目標を達成するため、次の3点を柱に編修しました。 <ol style="list-style-type: none"> ①筋道立てて考え表現するための学び方をはっきり示す。 ②生活や学習の基盤となる算数の礎をきっちり築き上げる。 ③算数の楽しさやよさをしっかり感じさせる。
学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された算数科の目標達成を目指し、数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を通じた学習となるようにしました。
主体的・対話的で深い学びの実現	<ul style="list-style-type: none"> 「じぶんで みんなで」では、学習の流れをわかりやすく示しました。子どもの学習意欲の喚起と主体的な学びを促すようにしています。(②p.65～67、②p.127～129)さらに「さんすうノートをつくろう」では、学びの過程の記述方法を紹介して言語活動を促しています。(②p.34～35) 単元の導入に設けた単元アプローチでは、子どもが興味・関心をもてる素材を選定しています。日常生活や既習事項を使って「おや?」と思う場面を設定し、課題発見につながるようにしました。(②p.2、②p.60など) 「じぶんで みんなで」では、問題解決の過程で自分の考えを表現したり、他者と協働して取り組んだりする場面を例示しました。(②p.65～67、②p.127～129)
基礎的・基本的な力の育成・定着	<ul style="list-style-type: none"> 大切な学習内容は繰り返し学習できるように構成しました。 単元前の「つぎの がくしゅうの ために」、「本単元」、単元末の「がくしゅうを たしかに」、学期ごとの「ふくしゅう (②p.32～33、②p.98～99)」学年末の「1年の ふくしゅう (②p.141～144)」を通して、基礎的・基本的な知識や技能の習得・定着を図ります。
学びの系統性	<ul style="list-style-type: none"> 「つぎの がくしゅうの ために」では、新しい単元での学習内容と関連の深い既習事項を確認できるようにしました。各問題には学習した内容を明示し、関連を明確にしました。 1年が学習した内容は、2年上巻に「1年までに 学習した こと」というページを設け、系統的に振り返れるようにしています。
知識・技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> 箱や空き缶などで形を作る、色板や色棒でかたちづくりをするなどの活動を通していろいろな形に触れ、基本図形を探し、図形学習の素地をしっかりと養えるように工夫しました。また、巻末の折込付録には、切り離して使える色板を用意しました。
思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな数学的表現形式(絵、図、ことば、式など)を関連づけて計算の仕方を考え、表現できるようにしました。 上記を受けて、2年以上は単元内の随所に数学的な「見方・考え方」を提示し、数学的に思考・判断・表現する力が育つようにしました。
主体的に学習に取り組む態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> 算数の楽しさやよさを感じられるように、「つかってみよう」では作業的・体験的な活動や、学習したことを実際の場面に活用する活動の充実を図っています。 おはなしづくりや絵本づくりなどの言語活動を通して、身の回りから加法や減法の場面を見つけ、より主体的に学習に取り組めるようにしています。
保幼小連携への配慮・個別最適化への対応	<ul style="list-style-type: none"> 1年①は従来よりページ数の少ない中綴じの教科書にし、巻頭を絵本仕立てにしました。就学前の経験から無理なく自然に算数の世界へと導き、小学校への円滑な接続に努めています。 自分で学習できるデジタルコンテンツ(下記参照)を豊富に用意しました。
教育のICT化への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 全学年の巻末に「レッツ プログラミング」のページを設け、プログラミング的思考を養うための教材を用意しました。 教科書紙面に二次元コードを配置し、それを読み取ることでさまざまなデジタルコンテンツにアクセスすることができます。 <div style="text-align: center;">  \みる\ \うごかす\ \ぶろっく\ \れんしゅう\ \こたえ\ </div> <p style="text-align: center;">1年で使用するデジタルコンテンツの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者用デジタル教科書(教材)、学習者用デジタル教科書や教材も発行します。

特別支援教育、ユニバーサルデザインへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の色を統一し、色文字の使用を抑えて読みやすい落ち着いた紙面にしました。 ・見やすく読みまがえにくいユニバーサルデザインフォントを全面的に使用しています。 ・当該学年以上の配当漢字には、ページ初出で振り仮名をつけました。 ・分かち書き、文節改行で誰にでも読みやすい紙面になっています。
道徳教育、他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科と関連して「じぶんで みんなで」では、自分の考えを説明したり友だちの発表をきいて似ているところや違うところを考え、話し合ったりする場面を具体的に示し、互いを尊重し理解する態度を示しました。(②p.65～67、②p.127～129) ・生活科、社会科、図画工作科、家庭科、体育科などの他教科と関連した題材を各学年で取り上げています。(①p.36～37など)
伝統文化・国際理解への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・折り紙や和食など、日本の伝統文化に関する題材を取り扱っています。 ・学習時期に合わせて季節の草花や動植物、海水浴や夏祭りなどの風物を描き、日本の四季や伝統文化が感じられるようにしました。(②p.14、②p.25、②p.40、②p.60など)
判型、印刷、製本	<ul style="list-style-type: none"> ・B5判で、本文用紙に軽量化した再生紙を使用して、教科書の軽量化に努めました。また、1年～4年は分冊することにより、子どもの負担の軽減を図っています。 ・表紙は表面加工を施し、耐水性や堅牢性を考慮しています。 ・植物油インクを用いて印刷し、①は開きやすい中綴じ製本、②は堅牢なあじろ綴じ製本にしています。

3. 対照表

配当 時数	単元名	学習指導要領・内容名	該当 箇所
			①
4	かずや かたちで たのしく	A (1) ア (ア) イ (ア)	表2～13
9	1 10までの かず	A (1) ア (ア) (イ) (ウ) イ (ア)	14～31
2	2 なんばんめ	A (1) ア (イ) イ (ア) B (1) ア (ウ)	32～35
7	3 いくつと いくつ	A (1) ア (イ) イ (ア)	36～45
			②
9	4 あわせて いくつ ふえると いくつ	A (2) ア (ア) (イ) (ウ) イ (ア)	2～13
9	5 のこりは いくつ ちがいは いくつ	A (2) ア (ア) (イ) (ウ) イ (ア)	14～27
3	6 かずを せいりしよう	D (1) ア (ア) イ (ア)	28～31
1	ふくしゅう	A、B、D	32～33
8	7 10より おおきい かず	A (1) ア (イ) (ウ) (イ) (オ) イ (ア) A (2) ア (ア) (イ) (ウ) (イ) イ (ア)	36～45
1	8 なんじ なんじはん	C (2) ア (ア) イ (ア)	46～47
5	9 どちらが ながい	C (1) ア (ア) (イ) イ (ア)	48～52
4	10 ふえたり へったり	A (2) ア (ア) (イ) (ウ) イ (ア)	53～58
10	11 たしざん	A (2) ア (ア) (イ) (ウ) イ (ア)	59～71
6	12 かたちあそび	B (1) ア (ア) (イ) イ (ア)	72～76
10	13 ひきざん	A (2) ア (ア) (イ) (ウ) イ (ア)	77～89
2	たすのかな ひくのかな	A (2) ア (ア) (イ) (ウ) イ (ア)	90～91
5	14 どちらが おおい どちらが ひろい	C (1) ア (ア) (イ) イ (ア)	92～97
1	ふくしゅう	A～C	98～99
11	15 20より 大きい かず	A (1) ア (イ) (ウ) (イ) (オ) (カ) (キ) イ (ア)	100～112
4	16 たしざんと ひきざん	A (2) ア (ア) (イ) (イ) イ (ア)	114～119
2	17 なんじ なんぶん	C (2) ア (ア) イ (ア)	120～122
4	18 ずを つかって かんがえよう	A (2) ア (ア) (イ) イ (ア)	123～131
4	19 かたちづくり	B (1) ア (ア) (イ) イ (ア)	132～135
2	20 おなじ かずずつ わけよう	A (1) ア (ウ) イ (ア)	136～137
3	1年の ふくしゅう	A～C	141～144

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104 - 148	小学校	算 数	算 数	1 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	算数 122 算数 123	しょうがく さんすう 1① しょうがく さんすう 1②		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
	なし			
合計				0

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容